

-----6月6日-----

※ 今週のアウトルック (6/6~6/10)

先週は、米国雇用統計の予想以上の悪化に大きく動かされた週でした。月、火でこそ、円に対しては少しドルの買い戻しがあったのですが、ADP雇用統計の悪化を皮切りに、ドル売りが本格化してしまいました。

今週もある程度買い戻しは入るものの、大きくドル売り基調が変わることはないように思います。

ドル円は80円を何とか割らずに週末を迎えています。ただ、この数か月で何度か80円を割っているので、80円はそれほど強いサポートとはならないかもしれません。

日本の政局も混乱しているため、介入を示唆する要人発言は出にくい状況にもあるように思います。

市場の関心は、どのタイミングで80円を割り、どの程度まで円高が進むのかに焦点が集まりそうですが、意外と早いタイミングで、大きく進んでしまう可能性もあるかもしれません。

ドル円の予想レンジは77円から81.5円です。

ユーロは、ユーロドルが1.45を超えてきたため、次のレジスタンスと考えられる、1.48程度まで上昇する可能性が高くなったように思います。ただ、ユーロ円はドル円がどの程度円高が進むかに大きく左右されてしまうため、ユーロドルが上昇しても、あまり上昇しないように思います。

ユーロ円の予想レンジは116円から118円です。

ポンド円はドル安の影響を大きく受けるため、幾分下落基調になっています。当面のサポートとなっている131円を割ってしまうと、127円あたりまでポンド安が進んでもおかしくないように思います。

ポンド円の予想レンジは127円から134円です。

今週は、ドル安センチメントが、どこまで進むのかに焦点が集まりそうです。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。